（第二版）（原稿記錄）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十二年三月二十八日 臺灣日日新報 第一万三千二百九十二號 A（一）

臺灣昌新民報 夕刊

三月二十七日
夕刊定價 一部二錢
發行所 臺灣日日新報社
臺北市旭町（電話七八五）基隆支局
臺中市寶町（電話三〇七）臺中支局
臺南市錦町（電話三〇〇）臺南支局
花蓮港街（電話一〇）花蓮港支局
大阪市（ニッカル）ビルヂング内 大阪支局
東京市芝區櫻田本郷町 東京支局
印刷兼發行人 佐々木 猛

近衛議長各閣僚招待
近衛貴族院議長は二十二日出先各所諸長官ホテルにて各閣僚を招待懇談會を開き各般の問題について意見の交換を行つた

解誤を說演の相外

支那、調子に乘る
東亞安定の見地から
支那の反省を促さん

【東京二十七日發】川越大使を始め在支帝國官憲から外務當局に現下の支那の情勢に對する認識に關し報告して來てゐるが、これ等の報告は何れも支那側の抗日侮日の態度が依然として改まらず、從つて日支關係の調整は容易に實現し難い旨を述べてゐるが、これに對し廣田外相は、支那側の抗日侮日の態度は日支關係調整の根本的障碍であるから、支那側に於て速かに之が是正に出でざる限り、帝國としては日支關係の調整は困難であるとの見地から、支那側の反省を促すことに決した模樣である

【東京二十七日發】支那駐屯軍參謀長橋本群少將は參謀長を辭し軍司令部附となり、後任には二十六日附で多田駿中將が發令されたが、橋本少將は後任者引繼のため來る三十日天津發車上京することとなつた、同少將は北支現下の重大問題たる經濟提携の促進と經濟開發に關し帝國政府と相呼應して強硬に主張しつつある軍當局と相呼應して強硬に主張しつつある軍當局と相呼應して強硬に主張しつつある軍當局

人權蹂躙の根絶に
司法警察官を教養
全島一二百餘名の警官を
二萬餘圓の國費で

司法警察官の職務を行使するものは、いつも被疑者等に依る人權蹂躙問題で、今回の假釋に於ても大分これが論議の的となつたが、本島司法界に於ても特に此の點につき考慮が拂はれ、山本前法務課長の發案に基き、二萬餘圓の國庫補助を仰ぎ、全島一二百餘名の警察官を一定の期間を以て召集し、犯罪者の檢擧その他に關する教養を施し、以て人權蹂躙の聲なども聞かぬやうにして而も犯罪檢擧其の他に於て能率を高めしめんとするもので、愈々近く實施が公布されはずに關する施設が實現する筈である、これは全島地方法院檢察局に於てそれ〳〵其の管轄區域内の高等警察及び司法係たる警部、巡査部長及び巡査等を一定の期間を以て召集し、犯罪者の檢擧その他に關する教養を施し、以てそれにも人權蹂躙の聲など聞かぬやうにして而も犯罪檢擧其の他に於て能率を高めしめんとするもので、勿論かかる事は從來とも極めて小規模に於ては行はれて居たのであるが、國費を以て組織的になされることは今回が嚆矢である、この召集を受くるものは例へば台北州下等では現在警部、巡査部長、巡査等九十餘名であるが全島では合計二百餘名でこの教養を爲す講習所其他の設備は目下法務課當局に於て具體案を練つて居る

日曜も雨か
天候やゝ〻回復

優勢な高氣壓の來襲で暴風雨を誘起した台北地方の天候は同高氣壓の移動により漸次暖かくなり天氣も良くなるものと思はれたが二十七日からは北部地方一帶が南西方面のハノイ、南京、香港から吹くレイン・デルトの壓内に入つたため曇り雨が降り續き二十八日の日曜日も少しこの壓勢を受けて曇り時々雨を見る模樣である

中等校教授要目
大改正を斷行
けふ文部省訓令で發表

【東京二十七日發】文部省では今般師範學校、中學校及び實業學校において從來國體の明徴に基づいて實施されて來た教授要目の改正を企圖し、既に案を練つてゐたが、新に案を得るに至つたので二十七日附文部省訓令を以てこれ等各校の教授要目の改正を發表四月の新學期から全國一齊に實施する筈になつた、今回の改正實施に依つて從來の教授内容の改善を期待する方針である

グライダー取扱ひを
實地に指導
あす修了式と遊覽飛行

第七回目の日程なる航空講習會のグライダー實習は二十七日午前九時から台北飛行場で實施の豫定であつたところ雨のため順延、午前中練習中で今回の講習に於ても大分これが經驗的となつたが、本島司法界に於ても特に此の點につき考慮が拂はれ、山本前法務課長の發案に基き二萬圓の國庫補助を仰ぎ全島一二百餘名の警察官を一定の期間を以て召集し、犯罪者の檢擧その他に關する教養を施し、以てそれにも人權蹂躙の聲など聞かぬやうにして而も犯罪檢擧其の他に於て能率を高めしめんとするもので、愈々近く實施が公布されはずに關する施設が實現する筈である、これは全島地方法院檢察局に於てそれ〳〵其の管轄區域内の高等警察及び司法係たる警部、巡査部長及び巡査等を一定の期間を以て召集し、犯罪者の檢擧その他に關する教養を施し、以てそれにも人權蹂躙の聲など聞かぬやうにして而も犯罪檢擧其の他に於て能率を高めしめんとするもので、勿論かかる事は從來とも極めて小規模に於ては行はれて居たのであるが、國費を以て組織的になされることは今回が嚆矢である、この召集を受くるものは例へば台北州下等では現在警部、巡査部長、巡査等九十餘名であるが全島では合計二百餘名でこの教養を爲す講習所其他の設備は目下法務課當局に於て具體案を練つて居る

ファンの歡迎裡に
けふ島都入り
あす本社で茶話會

「南國の唄」隊

映畫「南國の唄」撮影隊の一行は二十七日午前九時二十分台北着の一行を打揃ひ先づ台鎭神社に參拜、市内見物の後午後二時より本社二階に於ける本社の歡迎茶話會に臨み、映畫と台湾、映畫人の關たる台湾等につき座談會を催み二十九日から臺ヶ龜山に於ける撮影に參加する筈になつてゐる

▲内台線上り第一新竹號は二十七日午前六時十分台北發飛行場を出發、桃園、中壢、楊梅壢、新竹、香山、崎頂、竹南、苗栗、三叉河、豐原、葫蘆墩、大肚、彰化、社頭、員林、永靖、北斗、二林、大城、西螺、林内、斗六、石龜溪、虎尾、土庫、大林、嘉義、水上、後壁厝、新營、隆田、岡山、橋頭、楠梓、鳳山、九曲堂、屏東に着

臺灣八景十二勝が
日本みやげの一つ
伊藤畫伯が近く寫生

「日本みやげ」の一として廣く世界に紹介しようといふにある株式會社觀光局では上繪葉書の出版で世界的の名があるが、早くも十年後を見越し此度に出たことは流石に眼敏い、傳この機會に台湾の八景や十二勝が〝日本みやげ〟の中に加はり、觀光台湾〟として世界に廣く紹介されるであらうことは時節柄一層の快なニュースである（寫眞は伊藤畫伯）

中心會報講座
台湾中心會が主催となつて廿八日（今日）午後六時半から公會堂で開催第四回中心講座を開く由講師及び演題は次の通りである

一、二つの世界　稻木順治氏
一、中心日本の完成　當間一郎氏

士林防衛團
けふ結團式擧行

【士林電話】七星郡士林街防衛團結團式は二十七日午前十時士林街役場樓上に於て擧行、花輪、祝電堂に於て河合七星郡守、花輪、祝電堂に於て河合七星郡守、花輪、祝電堂に於て河合七星郡守

曉星雙紙 (20)

(第七囘)

田中貢太郎作
河野通勢畫

女　妖 (十一)

池の方には二、三のはしやぎのある聲が聞えた。酒の醉で面白半分に催促を始めてゐる所でもあらうが、その聲はもう阿歡の耳にはいらなかつた。阿歡は滿之丞の生きもしなかつた。見入つたまゝで醒きもしなかつた。

「根佐が曲つて、醜の內は黑いが醜は綺麗ぢや」

阿歡はふらふらと起つた。阿歡の體は赤ほつて眼には輝きがあつた。阿歡は傍にゐる根佐のことも耶らないやうに、龍蝦の體に己の體を寄せながら食卓をめぐつて往つた。根佐は呆然と奪はれて阿歡の姿へ往つた。

「お根佐樣、何方へ」

阿歡は聞えないのか返事をしないで滿之丞の傍へよたよたと往つた。滿之丞は「醜」に心をかゝめて俯向きかげんになつてゐた。兩肩は紫色に醉あがつてゐた。樣の體であらう。

「これ阿歡、面をあげ」

滿之丞は眼を開ちてゐた。滿之丞は火のやうな「慨」りを强ひて耐へてゐるやうであつた。阿歡は滿之丞の膝へ手をやつて醜をあげようとした。滿之丞の乃物で物やうな細い聲がした。

「け、けがらはしい、けがらはしい」

阿歡は思はず滿之丞へやつた手を引いたが、すぐ片膝に體美を浮かべた。

「けがらはしい、泥溝の中に落つた田舍者の小僧が、けがらはしいとは片腹醜いが」膝へまた手をやつて、「それにしても、そらは實しい醜をしてゐるぞ」

滿之丞はもう何も云はなかつた。醜にあがなかつた。阿歡は膝へかけた手を左の眼へ持つて往つた。

「醜をあげなければ、あげるやうにしてとらせる」

とらせると云ふいやな語をかけてくいと引つた。引つて滿之丞の醜を睨きこんだが、指で摸られた醜であるから引つた位は何とも感じないのであらう、滿之丞は平然としてゐた。

「これ位では何ともないと見える、それでは此處を」

眼の上へ手をやるなり思ふさま引つた。

滿之丞は苦しかつたのか體をびくびくとさした。

「お根佐樣、お醒れでございませぬか」

阿歡はまた紳絞的に笑ひだした。

「そちには夏芽のやうに見えるかへ、わしは慨い男を折檻してゐるから、何ともない」思ひだして、

「御酒を持ちや」

「い」

土瓶は引返して阿歡の飲みさしの杯を持つて來た。土瓶の後から龍蝦が御膳を持つて來た。土瓶はうやうやしく阿歡に杯をやつた。

「それではお部屋樣」

「お部屋樣、お醒れでございませぬか」

阿歡はまた紳絞的に笑ひだした。

「そちには夏芽のやうに見えるかへ、わしは慨い男を折檻してゐるから、何ともない」思ひだして、

「御酒を持ちや」

「い」

土瓶は引返して阿歡の飲みさしの杯を持つて來た。土瓶の後から龍蝦が御膳を持つて來た。土瓶はうやうやしく阿歡に杯をやつた。

「それではお部屋樣」

聯珠行脚

三月　北設　鈴木梅石
十三日　佐世保より

四日も降り込められの雨まで降りかけたので、五日は長崎行と決し旅館を發て見ると、意用出來ず、一度旅館を引拂て行かねばならぬ羽となり、夜行で立つて六日朝が暁、七日午後四時二十七分更めて長崎驛に乘り込む、途中牛津に降りて太宰府二氏を訪問する心算だつたが、時間の都合惡く次回に廻つたが、佐世保へ來て見ると八日は世佐保に第二艦隊が入港する日である、長崎に通れ居に通らして東港在世保にかける無數艦隊の

世界の子供は勿論大人からも大歡迎を受けてゐる銀幕の寵兒、漫畫映畫トーキー主人公のナンバーワンはミッキー・マウスである。製生後ここ八年間世界中の知的の名優と謳も　その人氣に於てこの鼠公に匹敵はないのである。

さて、このミッキー誕生は一九二八年、市井古生れのウオルト・ディズニー氏が創案者　彼ディズニー氏が、宿の鼠をチョコ〳〵走り廻つてゐた鼠の動作にヒントを得、いろ〳〵小動物をモデルとして試みに製作してゐた漫畫映畫のヒーローにミッキーを後に誕生

豫算案附希望決議
來廿九日將使通過
貴族院本會議上程之形勢

東京二十七日電。明年度一般會計總豫算案。二十六日在貴族院豫算分科會除第六分科外。全部可決。第六分科。二十七日午前十時續開。訂午前中議完。貴族院各派。正午各開總會。決定態度。午後一時三十分。開豫算總會。在林委員長。作成報告書。訂二十九日會議上程。當見成立。各派態度。大體陸海軍各二千三百萬圓使用停止額。計上於豫算。憲法上有疑義。將來不爲先例。及二十八億一千餘萬圓。之巨額。當夫豫算實施。不致物價昂騰。國民生活不安。政府十分考慮。似將附此意之希望決議。承認原案云。

增稅案且成立
卽如衆議院修正
通過貴族院本會議

東京二十七日電。明年度豫算案中歲入。增稅案。去二十五日。在貴族院委員會。附希望決議如衆議院修正可決。二十七日。貴族院本會議。初時上程。由波邊委員長。報告委員會經過並結果。如委員會決定可決。於是臨時租稅增徵法案。暨六件增稅案。通過兩院云。

中等校教授用目
決定大加改正
文部省特發訓令發表

東京二十七日電。文部省。此次欲於師範中學。高女實業學校。益加明徵國體本義。一層作興精神。發將教授用目。大加改正。愼重審案。頃已成就。二十七日。以文部省令。發表此等各校教授用目改正。擬自四月新學期。全國一齊實施。卽協令後中等學校。教授內容改善。教育刷新充實云。

國有財產法
施行於臺灣
郵便法改正施行期
一二十七日勅令公布

東京二十七日電。樞閣議所決定二事如左。一、國有財產法施行於臺灣件。一、郵便法中改正法律施行期日（四月一日）之件。既已上奏。請得御批。結果二十七日。以勅令公布云。

農地法案所關
政民兩黨對立
繼續附託委員或至握潰

東京二十七日電。農閣議所決定二事如左。農地法。繼續委員。政友會。則擬案所關。民政黨之意。在一以既定方針。附帶決議。

誤認外相演說宗旨
中國反出强硬態度
謀華北政府解消協定廢棄

東京二十七日電。川越大使。暨駐華帝國官憲。所致外務省。最近情報。綜合言之。華方大誇張佐藤外相。在議會演說趣旨。而斷定日本且出讓步的姿勢。且藉英國背後的援助。及國內的統一。與論頓爲强硬。總期冀東冀察兩政府。解消治外法權撤廢。其勢所趨。與佐藤外相所期圓滿新交涉。恐相背馳。轉陷窮境。究此認識不足之態度。帝國政府。引爲慨事。況如上海及塘沽停戰協定之廢棄。尤爲不卽現狀之議論。卽今日與停戰協定締結當時之狀態。客觀的情勢。別變化。現下事態。華方無其缺認識。有可明證。誠如前報臺灣輸出商業組合。爲本島仲買輸出發展。于二十六日午後四時五十分。主催官民懇談會。是日出席者督府井出商工課長。川口商工係長。小澤事務官。鮫島囑託。軍部林參謀。臺拓事業課長大西文一。華銀宮田美儀。厦門總領事館池見司諸氏。及組合幹部等。首由組合長高樹委氏代表主催者。略就厦門海關對本島輸出貨物銷售與地現況。不過五成。餘悉停滯于厦門市場。及水客競爭曉實。宜設統制機關。關此防止善後策。欲求當局及關係有力者之高見等以代致禮。次池見氏就水客業者。兩年來之經過。及與稅關吏關係。周詳說明。

臺灣輸出商業組合
開有力官民懇談會
强調統制機關爲必要

蘇組合長補足的說明。由是質疑應答。無隔意交換意見。議至七時二十分終了。

中國糖商
來月初來臺
已破發行價

東京二十六日本社特電。公社債課稅之源泉課稅主義復舊。三分半公債イ號高額九十八圓三十錢。其後決定由臺灣銀行進市中之成行。深注視云。

米統倉庫
建七十處
貯粟廿二萬石

昭和十一年度米穀自治管理倉庫建設計畫。五州及東部二十計五十四組合。有倉庫數七十。倉庫建設坪數七千九百二十坪。倉庫建設補助金九十五萬圓。此收容力。每坪二十八石總計可以貯粟二十二萬一千七百六十石。每坪百五十圓。補助八成百二十圓云。

臺南州下
校長異動
多至三十七名

臺南州下小公學校長。今四月東石郡下東石公學校五。竹南郡二十八。苗栗郡七十。大湖郡十七。計二百三十七。會場擬以國語講習所充之。而由各部落教化委員。及部落振興會指導者等。爲之善導云。

早季蓬萊
契約七十萬袋
昂勢稍停

一期蓬萊米。頃來期米活躍。先物契約旺盛。一月以來累計契約額約達七十萬袋。就中南部三十五萬袋。北部中部計三十五萬袋。加藤在內地契約最多三井次之。杉原。三菱等亦不少。厥後林式期米反落。內地契約稍停。產地不肯賤售。欲待價而賣。以故期米續跌。蓬萊却不甚落。二十六日東京市場北部深水十圓七十錢。阪神中部深水十一圓七十錢。自高價已落十五錢云。

新竹州爲普及國語
主開片假名講習會
新年度起共二百三十七處

新竹州當局。十二年度。爲普及國語。將開片假名講習會。教至能讀新聞之程度。兼謀涵養國民精神。各市郡設置數如下。新竹市十。新竹郡二十三。苗栗郡十五。桃園郡二十四。大溪郡十二。竹東郡三十二。竹南郡二十八。苗栗郡七十。大湖郡十七。計二百三十七。會場擬以國語講習所充之。而由各部落教化委員。及部落振興會指導者等。爲之善導云。

新竹郡下
三品評會
褒賞授與式

新竹郡肉豚。肥盛競技會。及農事改良實行小組合向上競技會。養鷄品評會等諸褒賞授與式。去二十六日午前十時。得赤堀知事並多數來賓臨席。在新竹市公會堂舉行。入賞者如左。但二等以下者省略。

▲農事改良實行小組合向上競技會。特等新埔庄北打鐵坑小組合。一等新埔庄石門小組合。舊港庄溪洲小組合。▲優良庄團體賞。新埔庄。▲肉豚肥盛競技會。特等關西庄。關西莊湖北劉喜情。新埔庄新埔鐘慶春。同北打鐵坑劉阿立。▲養鷄品評會。特等香山庄楊楷。二等香山庄林雲業。關西庄簡阿祿。▲育雛競技特等香山庄林朝春。二等香山庄楊海明。同楊皆。新埔庄羅永典。▲肉鷄肥育競技會。特等香山庄蕭清所。二等新埔庄鍾阿金。

華銀無配利
重役重任

華南銀行第三十六回定時株主總會。二十六日午後二時。開於同行內。因總理林熊徵氏上京中。副總理有勉旃三郎氏。爲議長。報告營業。監查役徐杰夫氏報告監查。利益金處分案。照原案可決。取締役林熊徵。林烈堂。顏國年。陳啓峰。盛恩頤。劉崇偉。黃慶元。李双郎諸氏。監查役鍾慶基。徐杰夫。許丕承。及高雄檢察官奴女之民諭等云。

藥理學會
臺灣赴會者

第十一回日本藥理學會。來四月三四兩日。將開於石川縣之金澤醫科大學法醫學教室講堂。臺北帝大醫學部杜教授。將於來二十九日。由蘇澳入太魯閣（仙洞橋）夕刻抵花。二十六日調察銅門築港。二十七日赴臺東。據松本雄吉。辻本正春。家長寬。肥後誠一郎諸氏。及本社河村社長。大澤主筆。衛藤。杉野上田各部長。森岡副部長。上田中。松井兩記者。前田秘書等出席。以交通。產業。財政。金融等。南方振興諸問題爲中心。並開聯政府機構問題。及所當進行之事業等開陳。及交換各種意見。然後散會。

臺南州下
招待民間
開座談會

盛唱南方經濟發展。南華南洋經營提携之秋。本社爲廣聽民間意見。去二十六日下午二時。在公會堂開座談會。有加藤葉平。三好德三郎。木村泰治。富澤源吉。有田勉三郎。松本晃吉。上野幸作。三卷俊夫。山中佐太郎。牛尾竹之助。松本雄吉。辻本正春。家長寬。肥後誠一郎諸氏。及本社河村社長。大澤主筆。衛藤。杉野上田各部長。森岡副部長。上田中。松井兩記者。前田得。却有一理。然至何處爲經濟問題。至何處爲政治問題。關係微妙。不使區處。帝國政府。則照既定方針。主張經濟提携先決主義。近於關係省間。將以一致對策。與之交涉。顧自華經濟提携。眞自東亞安定大局的見地而爲帝國態度。確乎不拔。此際或出矯激態度。反不能安定東亞。且促華方反省云。

臺灣輸出商業組合
開有力官民懇談會
强調統制機關爲必要

前報臺灣輸出商業組合。爲本島仲買輸出發展。于二十六日午後四時五十分。主催官民懇談會。是日出席者督府井出商工課長。川口商工係長。小澤事務官。鮫島囑託。軍部林參謀。臺拓事業課長大西文一。華銀宮田美儀。厦門總領事館池見司諸氏。及組合幹部等。首由組合長高樹委氏代表主催者。略就厦門海關對本島輸出貨物銷售與地現況。不過五成。餘悉停滯于厦門市場。及水客競爭曉實。宜設統制機關。關此防止善後策。欲求當局及關係有力者之高見等以代致禮。次池見氏就水客業者。兩年來之經過。及與稅關吏關係。周詳說明。

公債軟調
已破發行價

東京二十六日本社特電。公社債課稅之源泉課稅主義復舊。三分半公債イ號高額九十八圓三十錢。其後決定由臺灣銀行進市中之成行。深注視云。

中國糖商
來月初來臺

糖業聯合會藤山理事長旅行中國。自上海致電於殖產局長。謂中國糖商二十數名。應日本糖業招待。四月上旬將到臺灣。視察糖業及一般產業云。

加美源群島附近
漁夫捕獲稀見人魚
用藥浸漬以供考究

漁船于海上徒漁中。往々被人魚傷民所恫嚇。人魚或稱爲海和尚者。故老傳其缺認識。有可明證。誠如前報臺灣最南部宣布都沿海。昭和六年中。布袋都大樹厝。一漁夫捕獲。然當時不知爲人魚。卽與部落民衆而食之。臺北帝大平坂教授。其後聞知。乃由該漁夫。發現其骨格而爲描寫。總督府于昭和八年十一月。對行見殘波之階民指定爲天然記念物。嚴禁捕獲。僅長全身灰色。同體以上。個人身。長以下

高雄港祭
陸戰隊繞街
盛況裡閉幕

高雄港祭。去二十六日閉幕。是日午前十時。在市支廳豫算案。事業經營方法組合分賦金額等各號議案三時餘閉會。又十二年度收豫算總會。附議十二年度收入議事。附議十二年度收豫算總會。附議十二年度收支

(一)　第一万三千二百九十三號　昭和十二年三月二十八日　臺灣日日新報　(日曜日)　(京城記錄)　(明治卅一年五月九日第三種郵便物認可)

臺灣日日新報
日刊夕日本共十六頁
本社各地人員設會館
社報新日日臺灣所行發
第〇〇八號 讀者直代 話電

太平生命

契約者各位に謹告

迂生一襄に當社經營の衝に當るや生命保險の公共的使命の重大性に鑑み、堅實經營を宗旨とし、一意社業の進展に力を致したると、各位の熱誠なる御後援に依り、社礎愈々鞏固を加ふるを得たるは眞に同慶に堪えざる所なり。

卽ち之を昭和十一年度業績に見るに、新契約は良質となり、既契約はよく保全せられ、資産の運用に於ては、收入諸利息は前年度を凌駕し、保險料收入も亦增加したり。而も有價證券評價益の如きは一切計上せず、不動產其他資產の銷却は徹底的に之を行ひ、事業費は勗めて之を節減し、銳意內容の堅實强化を圖りたり。

如斯して契約者配當金は幾分之を增加し得たるのみならず、本年度より新に保險契約利益配當平均準備金を設けて契約者配當の補强を圖る等逐次契約者奉仕の實を擧げ、玆に創業以來比類なき堅實なる決算を了したるは卿か欣幸とする所なり。

會社の進展は各位の御協力に俟つもの最も大なり。迂生今後共益々契約者奉仕の爲め全幅の努力を傾くるの覺悟なれば各位も幸に此の微意を諒とせられ、二層の御援助切望に堪えず。

太平生命保險株式會社
社長 根津嘉一郎

短歌研究
新人特輯號
四月號　特價八十錢　送料三錢

新人作品集
佐藤佐太郎 / 宮柊二 / 小暮政次 / 吉植庄亮 / 金子薫園 / 千樫 / 三井ゆき / 曾宮三枝子 / 古泉千樫 / 尾瀬敬止 / 吉井勇 / 古今東西 / 新人評論特輯 / 新人論 / 作品論 / 短歌作品(五十名)

俳句研究
四月特別號　特價八十錢　送料三錢

俳句の神髓
俳句と其傳統 / 俳句と生活 / 俳句と自然 / 俳句と人事 / 俳句と象徴 / 俳句と寫生 / 俳句と季題 / 俳句と切字 / 俳句と定型 / 俳句と韻律 / 俳句と主觀 / 俳句と客觀 / 俳句と滑稽 / 俳句と諷刺 / 俳句と境涯 / 俳句と境地 / 俳句と鑑賞 / 俳句と表現 / 俳句と實作 / 俳句と理論 / 俳句と古典 / 俳句と現代 / 俳句と近代 / 俳句と新傾向 / 俳句と無季 / 俳句と連作 / 俳句と連句 / 俳句と川柳 / 俳句と短歌 / 俳句と漢詩 / 俳句と和歌 / 俳句と俗謠 / 俳句と謠曲 / 俳句と俳諧 / 俳句と俳文 / 俳句と俳論 / 俳句と俳人 / 俳句と俳壇 / 俳句と俳畫 / 俳句と俳味 / 俳句と俳體 / 俳句と俳趣 / 俳句と俳境 / 俳句と俳情 / 俳句と俳風 / 俳句と俳調 / 俳句と俳語 / 俳句と俳諧 / 俳句と俳文 / 俳句と俳論 / 俳句と俳人 / 俳句と俳壇 / 俳句と俳畫 / 俳句と俳味 / 俳句と俳體 / 俳句と俳趣 / 俳句と俳境 / 俳句と俳情 / 俳句と俳風 / 俳句と俳調 / 俳句と俳語

家庭文化
加茂儀一著　(最新刊發賣)　菊判　二六二頁　定價九十三錢

日本經濟四季報
日本經濟研究會編　(第二號)　四六判　四百頁　定價一圓

改造文庫
(最新刊)

人口論(上卷)
ロバート・マルサス著　松岡信夫譯　四六判　三百頁　定價五十錢

人口論(中卷)
ロバート・マルサス著　松本信夫譯　四六判　三百頁　定價五十錢

歐洲文學發達史
マキシム・ゴーリキイ著　上脇進譯　四六判　三百頁　定價五十錢

隨筆
ヴェ・エム・キルション作　杉本良吉譯　四六判　三百頁　定價五十錢

マルクス・エンゲルス藝術論研究
フリーチエ著　外村史郎譯　四六判　三百頁　定價五十錢

すばらしい合金・風の街
エフ・シルレル著　上田進譯　四六判　三百頁　定價五十錢

發行所　東京市芝區新橋七丁目　振替東京八四〇二番　改造社

新鋭作家十人集
山田清三郎 / 阿部知二 / 中村地平 / 尾崎士郎 / 石川達三 / 太田正雄 / 古賀英正 / 小田嶽夫 / 丹羽文雄 / 舟橋聖一

湯山三吟研究
(最新刊發賣)　菊判　二六二頁　定價九十三錢

隨筆
井伏鱒二 / 白石喜茂 / 春山行夫 / 城左門 / 三好達治

萬葉集卷二の綜合研究
古典叢書　特製函入　菊判　四百頁　定價一圓

日本文學講座
全廿五冊　豫約募集中

系大歌國
校註

系大學文本日
校註

最廉價普及版
堂々一千頁の大著が普及版として僅か一圓五十錢と云ふ空前の廉價で發賣されたのだ。忽ち人氣沸騰！學校圖書館から申込殺到！

大系の特徴
(1) 作品の苦心選擇と系統的なる排列順序
(2) 嚴密正確なる校訂と貴重資料の蒐集
(3) 本大系各卷の解說は大國文學史の形成をなす
(4) 斯界の權威が擔當された比類なき大註釋書である
(5) 校訂と相俟ち校正最も嚴密底本を期す
(6) 斯の如き著大冊にして空前の廉價で提供

監修
文學博士 上田萬年 / 文學博士 新村出 / 文學博士 藤村作 / 文學博士 岡田正之 / 文學博士 久松潜一 / 文學博士 山田孝雄 / 文學博士 佐佐木信綱 / 文學博士 折口信夫 / 文學博士 土井晩翠 / 文學博士 金澤庄三郎 / 文學博士 橘純一 / 文學博士 藤井乙男 / 文學博士 三上參次 / 文學博士 芳賀矢一 / 文學博士 和田萬吉

全二十五卷の內容
第一卷 古事記・日本書紀・風土記・日本靈異記・古代歌謠
第二卷 行成物語・伊勢物語・堤中納言物語・その他
第三卷 枕草子・紫式部日記・和泉式部日記・讃岐典侍日記・その他
第四卷 宇津保物語
第五卷 落窪物語・住吉物語・さごろも外一篇
第六卷・第七卷 源氏物語(上下)
第八卷 狹衣物語(上)・夜半の寢覺物語(下)
第九卷 浜松中納言物語(上)・本朝文粹(下)
第十卷 榮華物語
第十一卷 大鏡(一)
第十二卷 大鏡(二)・增鏡
第十三卷 今鏡・水鏡・增鏡
第十四卷 保元物語・平治物語・承久記・その他
第十五卷・第十六卷 神皇正統記・愚管抄
第十七卷 太平記(上下)
第十八卷 太平記(下)・吉野拾遺・南朝五代史・前後太平記
第十九卷 謠曲(上)
第二十卷 謠曲(下)・古今著聞集
第廿一卷 狂言記
第廿二卷 本朝文粹
第廿三卷 新撰萬葉集・萬葉集總索引・萬葉集研究
第廿四卷 萬葉集古義(一)
第廿五卷 萬葉集古義(二)・萬葉集古義總索引

全二十八卷の內容
第一卷 古歌謠集
第二卷 西集集
第三卷 八代集(上卷)
第四卷 八代集(下卷)
第五卷 十三代集(上)(二)(三)(四)
第六卷 十三代集(下卷)
第七卷 歌學集(上卷)
第八卷 歌學集(下卷)
第九卷 連歌集(上卷)
第十卷 連歌集(下卷)
第十一卷 六家集(上卷)
第十二卷 六家集(下卷)
第十三卷 中古諸家集
第十四卷 近古諸家集
第十五卷・第十六卷 近代諸家集(一)(二)(三)(四)
第十七卷 狂歌集(上)
第十八卷 狂歌集(下)
第十九卷 俳諧集(上)
第二十卷 俳諧集(下)
第廿一卷 俳諧集・俳諧連歌集
第廿二卷 俳諧集・俳諧連歌集・俳諧集(他一篇)
第廿三卷 新修作者部類・作者索引・歌學史年表
第廿四卷・第廿五卷 綜合索引(一)(二)

第一回配本 上卷
八代集
各地の書店で豫約申込み第一回配本

第一回配本
全廿八卷の和歌大成
両大系共申込四月十日

第回配本 太平記(上卷)
全國書店に內容見本アリ

東京市京橋區銀座一丁目
誠文堂新光社
振替口座東京四三五〇〇

散歩の友
日本橋
歯痛と頭痛に
神經痛に
キメの細かい評判の回春散は
よくきくと言ってドコの薬店でも近頃素晴しい賣れ行です。
一度お試し下さい
本舗 東京 大阪 森田製藥店
(全國の薬店にあり)

理研カンフェナール
強力・カンフル新誘導體
強心呼吸興奮劑
(日英米獨佛發明特許)
化學名(10アポカンフエル1アルデヒド)
(1) 心臟そのものに 作用初期の抑制作用を伴はず强心藥として働き且つ呼吸中樞血管中樞にも作用す
(2) 臨床實驗の結果は何等の副作用なく良く强心呼吸興奮作用を迅速に發現し且に急激なる呼吸を深大に增强する作用は本劑の最も誇るべき點なり
(3) 化學的結合成品なる上壞化を防止せるを以て其內容及び効能は常に一定不變にして副性極る弱く價格亦低廉なり
適應症 急性心臟疾病、一般心臟疾患、血行障害、狹心症、急性虛脫狀態、呼吸困難、脳腫中毒、急性傳染病小兒疾病
容量 1.0cc (5管入10管入50管入) 2.0cc (5管入10管入50管入)
文獻は代理店より醫家に限り贈呈す
製造元 財團法人 理化學研究所
代理店 株式會社 藤澤友吉商店 大阪市東區道修町二
株式會社 田邊元三郎商店 東京市日本橋區本町二

腦力カタル 腦內殺菌 靜脈吸著 アルシリン錠
新吸著劑療法劑
頑固なる下痢 食餌中毒 腸內異常醱酵
アルシリン錠は銀炭末と塩化銀珪酸とを主効成分とし、腸疾患の原因たる腸內毒素を吸著解毒すると共にカタル、下痢を生起せしむる傳炎性物質並に細菌を吸著殺菌し之を安全に排除せしむ。
元賣發 店理代京東
町修道市阪大 店商衛兵長武 町本市京東 店商衛兵新西小

カモス齒磨
のみのコバタ
汚染のやうな模樣もあり 模樣のやうな汚染もあるあなたの齒はさてニチン模樣か

日本近海郵船
門司神戸行
吉野丸 三月廿九日後四時半發
朝日丸 四月一日午前十時發
大和丸 四月六日午前十時發
大連仁川行
元明丸 三月三十日午前十時
上海內地行
伏見丸 四月十二日午前九時
香港歐洲行
箱根丸 四月二十一日後六時發

日本海運
門司神戸行
大連直行
三月廿九日後四時半發
山東丸 四月六日午前十時發
丸一組

日本海運
大阪商船
門司神戸行
高千穗丸 三月廿日午前十時發
靖國丸 三月廿四日午前十時發
別府丸 三月廿八日午前十時發
第二別府丸 四月一日午前十時發
高千穗丸 四月四日午前十時發
靖國丸 四月八日午前十時發
別府丸 四月十二日午前十時發
第二別府丸 四月十五日午前十時發
高千穗丸 四月十八日午前十時發
靖國丸 四月廿二日午前十時發
別府丸 四月廿六日午前十時發
第二別府丸 四月廿九日午前十時發
高千穗丸 五月二日午前十時發
靖國丸 五月六日午前十時發
別府丸 五月十日午前十時發
第二別府丸 五月十三日午前十時發
高千穗丸 五月十六日午前十時發
靖國丸 五月廿日午前十時發
別府丸 五月廿四日午前十時發
第二別府丸 五月廿七日午前十時發
高千穗丸 五月三十日午前十時發
靖國丸 六月三日午前十時發
別府丸 六月七日午前十時發
第二別府丸 六月十日午前十時發
高千穗丸 六月十四日午前十時發
靖國丸 六月十七日午前十時發
別府丸 六月廿一日午前十時發
第二別府丸 六月廿四日午前十時發
高千穗丸 六月廿八日午前十時發
靖國丸 七月一日午前十時發
別府丸 七月五日午前十時發
第二別府丸 七月八日午前十時發
高千穗丸 七月十二日午前十時發
靖國丸 七月十五日午前十時發
別府丸 七月十九日午前十時發
第二別府丸 七月廿二日午前十時發
高千穗丸 七月廿六日午前十時發
靖國丸 七月廿九日午前十時發
別府丸 八月二日午前十時發
第二別府丸 八月五日午前十時發
高千穗丸 八月九日午前十時發
靖國丸 八月十二日午前十時發
別府丸 八月十六日午前十時發
第二別府丸 八月十九日午前十時發
高千穗丸 八月廿三日午前十時發
靖國丸 八月廿六日午前十時發
別府丸 八月三十日午前十時發
第二別府丸 九月二日午前十時發
高千穗丸 九月六日午前十時發
靖國丸 九月九日午前十時發
別府丸 九月十三日午前十時發
第二別府丸 九月十六日午前十時發
高千穗丸 九月廿日午前十時發
靖國丸 九月廿三日午前十時發
別府丸 九月廿七日午前十時發
第二別府丸 九月三十日午前十時發
高千穗丸 十月四日午前十時發
靖國丸 十月七日午前十時發
別府丸 十月十一日午前十時發
第二別府丸 十月十四日午前十時發
高千穗丸 十月十八日午前十時發
靖國丸 十月廿一日午前十時發
別府丸 十月廿五日午前十時發
第二別府丸 十月廿八日午前十時發
高千穗丸 十一月一日午前十時發
靖國丸 十一月四日午前十時發
別府丸 十一月八日午前十時發
第二別府丸 十一月十一日午前十時發
高千穗丸 十一月十五日午前十時發
靖國丸 十一月十八日午前十時發
別府丸 十一月廿二日午前十時發
第二別府丸 十一月廿五日午前十時發
高千穗丸 十一月廿九日午前十時發
靖國丸 十二月二日午前十時發
別府丸 十二月六日午前十時發
第二別府丸 十二月九日午前十時發
高千穗丸 十二月十三日午前十時發
靖國丸 十二月十六日午前十時發
別府丸 十二月廿日午前十時發
第二別府丸 十二月廿三日午前十時發
高千穗丸 十二月廿七日午前十時發
靖國丸 十二月三十日午前十時發

日本海運
大阪商船
門司神戸行
靖國丸 三月廿九日後五時發
別府丸 四月六日午前十時發
第二別府丸 四月九日午前十時發
高千穗丸 四月十三日午前十時發
靖國丸 四月十六日午前十時發
別府丸 四月廿日午前十時發
第二別府丸 四月廿三日午前十時發
高千穗丸 四月廿七日午前十時發
靖國丸 四月三十日午前十時發
別府丸 五月四日午前十時發
第二別府丸 五月七日午前十時發
高千穗丸 五月十一日午前十時發
靖國丸 五月十四日午前十時發
別府丸 五月十八日午前十時發
第二別府丸 五月廿一日午前十時發
高千穗丸 五月廿五日午前十時發
靖國丸 五月廿八日午前十時發
別府丸 六月一日午前十時發
第二別府丸 六月四日午前十時發
高千穗丸 六月八日午前十時發
靖國丸 六月十一日午前十時發
別府丸 六月十五日午前十時發
第二別府丸 六月十八日午前十時發
高千穗丸 六月廿二日午前十時發
靖國丸 六月廿五日午前十時發
別府丸 六月廿九日午前十時發
第二別府丸 七月二日午前十時發
高千穗丸 七月六日午前十時發
靖國丸 七月九日午前十時發
別府丸 七月十三日午前十時發
第二別府丸 七月十六日午前十時發
高千穗丸 七月廿日午前十時發
靖國丸 七月廿三日午前十時發
別府丸 七月廿七日午前十時發
第二別府丸 七月三十日午前十時發
高千穗丸 八月三日午前十時發
靖國丸 八月六日午前十時發
別府丸 八月十日午前十時發
第二別府丸 八月十三日午前十時發
高千穗丸 八月十七日午前十時發
靖國丸 八月廿日午前十時發
別府丸 八月廿四日午前十時發
第二別府丸 八月廿七日午前十時發
高千穗丸 八月三十一日午前十時發
靖國丸 九月三日午前十時發
別府丸 九月七日午前十時發
第二別府丸 九月十日午前十時發
高千穗丸 九月十四日午前十時發
靖國丸 九月十七日午前十時發
別府丸 九月廿一日午前十時發
第二別府丸 九月廿四日午前十時發
高千穗丸 九月廿八日午前十時發
靖國丸 十月一日午前十時發
別府丸 十月五日午前十時發
第二別府丸 十月八日午前十時發
高千穗丸 十月十二日午前十時發
靖國丸 十月十五日午前十時發
別府丸 十月十九日午前十時發
第二別府丸 十月廿二日午前十時發
高千穗丸 十月廿六日午前十時發
靖國丸 十月廿九日午前十時發
別府丸 十一月二日午前十時發
第二別府丸 十一月五日午前十時發
高千穗丸 十一月九日午前十時發
靖國丸 十一月十二日午前十時發
別府丸 十一月十六日午前十時發
第二別府丸 十一月十九日午前十時發
高千穗丸 十一月廿三日午前十時發
靖國丸 十一月廿六日午前十時發
別府丸 十一月三十日午前十時發
第二別府丸 十二月三日午前十時發
高千穗丸 十二月七日午前十時發
靖國丸 十二月十日午前十時發
別府丸 十二月十四日午前十時發
第二別府丸 十二月十七日午前十時發
高千穗丸 十二月廿一日午前十時發
靖國丸 十二月廿四日午前十時發
別府丸 十二月廿八日午前十時發
第二別府丸 十二月三十一日午前十時發

日本海運
大連汽船
門司神戸行
辰馬汽船
染殿丸
門司神戸行

内地移民と衛生醫療の施設
之を完備することが第一義

一

この頃、我が台湾へ内地から漁業、農業経作及び醫業等の移民が當局の努力に依り、段々やつて來てゐこと二、三年の間許りでも既に二千人を超え、近くは又た九州方面より九十六戸の農業移民も招致されることになつて居り、更に將來二百万くらゐの内地移民を招致したいといふやうな希望もあるやうだ。二百万の移住はいづれ遠き將來に在るとしても、今後百年間に亘つて居る相當人口の吐け口として天意に當る訳である。相當のものの活況を來し内台双方の爲にも喜ぶべきことで、多々益々之に就ての努力を當局に両つて切望するものであるが、それにつけても第一義として次々的に考慮せられねばならぬことは、これら移民の衛生醫療の施設である。

二

京大教授の戸田正三博士は、本邦における衛生学の権威者として知られ、殊に外國に於ける日本移民の保護に關しては多大の貢献を為した人である。同博士が先年ブラジルに於ける我が移民の衛生狀態を調査して帰つた時の報告の一節に次ぎ云ふ意味のことがある。

曰く「日本人の移民が先づ家を建てるのに水の在る所を選ぶ、そして家の周囲に樹木を植るのや風通しが思ひ内に窓を多くするので蚊族の發生が警約されるのに反してブラジル移民のやうな過誤に陥りはしなかつたと思はれる。陸軍方面の日の出村約六百人の新移民は昨夏來台後十一、二月頃迄にマラリア、チフス、腸氣及び下痢病患等の爲に十八人もの病死者を出して居る。尤も發病迄には若干の潜伏期間があつて、その間に移民地を離れて醫師の診察を受けた者は二十人以上もあつたといふ。最初移住當時から醫療機關を設けて醫生方面を見てやることそれには手が廻らなかつたやうである。由來新移民は故國に居有する病氣を其の儘持つて來る上に更に移民地在來の風土病が加重されるのであるから、よほど衛生醫療が整はなくては移民としての成功は覚束ないのである。ブラジルに於いて西洋人の移民部落などを見ると必ず先づ所属の醫院を設ける例になつて居り、アッカに於けるドイツ住年の植民地でも何より先に立派な病院を建つてかかつたといふ、先般アフリカに居つたといふドイツ人が來台し台北州下ウライ方面の茶園を見て、「茲台各もの從事者を使つて居るのに醫院といふやうなものが、唯だの一つも設けてないことに驚きの眼を見張つて「ドイツなどでは斯様な事は全く考へられない、移民地の成功と否とは一に醫療機關の施設と移民の住宅の如何に基づく」と言つたさうである。

移民の住宅と言へば彼の日の出村のそれの如き臭氣紛々の人に大部分売畜し肝腎の人の住む部分は手狭で防暑設備も不完全であると言はれて居るが、熱帯地への新移民は何うしても瘴癘と風土病を征服してかからないことにはいけないのである。この意味に於て防疫醫師も必要であらうしワクチン注射でチフスを防遏し、或は食料に於てビタミンBを供給して腳氣を防ぐといふやうな心遣ひをしてやることも極めて必要であらうと思ふ此の程專賣局主催の移民に關する座談會に於ても幸ひにも衛生醫療關係の問題も盛に論議されたのであるが、今後國策として益々内地移民が本島に招致さるる期序に在るにつけても、殖産局を始めとして關係各方面に於て協力し、氣候や風土病の征服と保健衛生醫療の施設とに大なる努力を拂ふことが極めて急務であらうと信ずる。

備砲口徑のみの制限
帝國政府は應じ得ず
佐藤外相正式に回答

【東京二十七日發】英國政府は昨年十月來我方に對し新ロンドン條約第四條主力艦備砲口徑十四吋制限に參加方を熱心に希望してゐた所、新條約加入基礎たる四月一日を目睫に控へ我が海軍、外務兩當局はこれが回答について熟議を重ねた結果成案を得たので佐藤外相は二十七日正午外務省に駐日英大使クライブ氏の來訪を求め同氏に對し次で對談に入り深井英五氏（研究）從來細目本の財政を切り盛りするに國民を以てしたのであつて今回の増稅は當然であると思ふ、何となれば國民は無限に担任する事は許さぬ、或る程度に達すればこれが發行について十分考へねばならぬものである、斯る際において増稅を企圖した事は已むを得ざるものと云はねばならぬ、併し今回の増稅は單に財政上の辻褄を合せるのみに止まつてはならぬ、國民も國民生活に重大なる影響を及ぼさずして軍備充實の爲國力の伸張に備へるものであけねばならぬ、私は

【東京二十七日發】英國政府は昨年十月來我方に對し新ロンドン條約第四條主力艦備砲口徑十四吋制限に參加方を熱心に希望してゐた所、新條約加入基礎たる四月一日を目睫に控へ我が海軍、外務兩當局はこれが回答について熟議を重ねた結果成案を得たので佐藤外相は二十七日正午外務省に駐日英大使クライブ氏の來訪を求め同氏に對し次で對談に入り

深井英五氏（研究）從來細目本の財政を切り盛りするに國民を以てしたのであつて今回の増稅は當然であると思ふ、何となれば國民は無限に担任する事は許さぬ、或る程度に達すればこれが發行について十分考へねばならぬものである、斯る際において増稅を企圖した事は已むを得ざるものと云はねばならぬ、併し今回の増稅は單に財政上の辻褄を合せるのみに止まつてはならぬ、國民も國民生活に重大なる影響を及ぼさずして軍備充實の爲國力の伸張に備へるものであけねばならぬ、私は

増稅案可決確定す
希望決議を附して
貴族院本會議（廿七日）

【東京二十七日發】二十七日の貴族院本會議は午前十時十七分開會直ちに日程に入り

一、臨時租稅増徴法案
一、法人資本税法案
一、外貨債特別税法案
一、酒税増税法案
一、有価證券移轉税法案
一、明治四十年法律第二十二號中改正法律案

（何れも政府提出衆議院送付）

を一括して委員長報告を求め、委員長加藤定吉氏より委員會に於ける経過並に結果を詳細に述べ、最後に「衆議院送付通り可決すべきものと確定した」旨を報告した次で討論に入り

【東京二十七日發】二十七日の貴族院本會議は午前十時十七分開會、諸般の報告あつて後同二十四分散會直ちに日程に入り

一、臨時租稅増徴法案
一、法人資本税法案
一、外貨債特別税法案
一、酒税増税法案
一、有価證券移轉税法案
一、明治四十年法律第二十二號中改正法律案

（何れも政府提出衆議院送付）

を一括して委員長報告を求め、委員長加藤定吉氏より委員會に於ける経過並に結果を詳細に述べ、最後に「衆議院送付通り可決すべきものと確定した」旨を報告した次で討論に入り

製鐵事業法案は
審議未了避け難し
許可制度に反對論強く

【東京二十七日發】政友會は廿七日午後一時より衆院第一委員室に總務會を開き、製鐵事業法案に對する態度を協議したが、同案は既に衆院を通過し貴族院に廻つてゐるので、政友會としては同案の成立を希望してゐるが、貴族院内の反對論強く、同案の審議未了となる場合を豫想し、政友會としては同案の成立を希望してゐるが、貴族院内の反對論強く、同案の審議未了となる場合を豫想し、

日本との提携を
英紙が強調
佐藤外相に好感

【ロンドン二十七日發本社特電】佐藤外相が帝國議會に於て敎次に亘り日英親善關係の緊要なる所以を強調した點は、英國朝野の各方面に好感を以て迎へられ、モーニング・ポスト紙は二十七日の紙上で日英親善團の提携を主張する論説を掲げ、林首相は組閣の當初から日英兩國の國交調整を主眼としてゐたが

【ロンドン二十七日發本社特電】佐藤外相が帝國議會に於て敎次に亘り日英親善關係の緊要なる所以を強調した點は、英國朝野の各方面に好感を以て迎へられ、モーニング・ポスト紙は二十七日の紙上で日英親善團の提携を主張する論説を掲げ、林首相は組閣の當初から日英兩國の國交調整を主眼としてゐたが

日蘭會商は近く
圓滿に解決せん
歸國の桑島公使談

【ニューヨーク二十六日發同盟】「二重苦の聖女」のヘレン・ケラー女史は廿五日午後九時二十二分ニューヨーク出發日本訪問の途に就いたが、出發に當りルーズベルト米大統領は特にヘレン・ケラー女史に左のメッセージを託した

女史今回の日本訪問に依り具體的國苦に惱む日本人は不斷のインスピレーションを受けることを確信する、更に女史今回の訪問で人道的事業に携はる日本人びに日本の各團體と親しく交際する結果日米兩国民の親善友好關係に寄與する所甚大であらう、國際間の親善關係は常に國民相互間の親善に依存するが女史は申分ない親善使節としてアメリカ國民の心からの挨拶を日本國民に傳へられることを切望す

ル大統領がメッセージを託す
訪日のケラー女史に
【ロンドン二十七日發本社特電】佐藤外相が帝國議會に於て敎次に亘り日英親善關係の緊要なる所以を強調した點は、英國朝野の各方面に好感を以て迎へられ、モーニング・ポスト紙は二十七日の紙上で日英親善團の提携を主張する論説を掲げ、林首相は組閣の當初から日英兩國の國交調整を主眼としてゐたが

日本の主張に
反駁的聲明
キューバ關税
委員會が發表

【ハバナ二十六日發本社特電】キューバ關稅委員會は外國よりキューバに輸入されるものはキューバの生産物と競爭する事を得ない關税決定、二十六日之を發表した、右は過般來ほれてゐる日本キューバ間通商條約改訂談判に於て日本側が獨逸より一五%キューバに輸入される後日本に再輸出される硫安とキューバの物産と競爭しない關税の調和を與へられねばならぬ点に就て特に政府の所見を質したのであるが、此点に充分考慮を拂はれ

【ハバナ二十六日發同盟】キューバ關稅委員會は外國よりキューバに輸入されるものはキューバの生産物と競爭する事を得ない關税決定、二十六日之を發表した、右は過般來ほれてゐる日本キューバ間通商條約改訂談判に於て日本側が獨逸より一五%キューバに輸入される後日本に再輸出される硫安とキューバの物産と競爭しない關税の調和を與へられねばならぬ点に就て特に政府の所見を質したのであるが、此点に充分考慮を拂はれ

委員會に於ても国防、外交、経済の調和を図られねばならぬ点に就て特に政府の所見を質したのであるが、此点に充分考慮を拂はれ

【東京二十七日發】英國政府は昨年十月來我方に對し新ロンドン條約第四條主力艦備砲口徑十四吋制限に參加方を熱心に希望してゐた所、新條約加入基礎たる四月一日を目睫に控へ我が海軍、外務兩當局はこれが回答について熟議を重ねた結果成案を得たので佐藤外相は二十七日正午外務省に駐日英大使クライブ氏の來訪を求め同氏に對し次で對談に入り

深井英五氏（研究）從來細目本の財政を切り盛りするに國民を以てしたのであつて今回の増稅は當然であると思ふ、何となれば國民は無限に担任する事は許さぬ、或る程度に達すればこれが發行について十分考へねばならぬものである、斯る際において増稅を企圖した事は已むを得ざるものと云はねばならぬ、併し今回の増稅は單に財政上の辻褄を合せるのみに止まつてはならぬ、國民も國民生活に重大なる影響を及ぼさずして軍備充實の爲國力の伸張に備へるものであけねばならぬ、私は

備砲口徑のみの制限
帝國政府は應じ得ず
佐藤外相正式に回答

【東京二十七日發】英國政府は昨年十月來我方に對し新ロンドン條約第四條主力艦備砲口徑十四吋制限に參加方を熱心に希望してゐた所、新條約加入基礎たる四月一日を目睫に控へ我が海軍、外務兩當局はこれが回答について熟議を重ねた結果成案を得たので佐藤外相は二十七日正午外務省に駐日英大使クライブ氏の來訪を求め同氏に對し次で對談に入り

舊議事堂の跡に
國體館建設の請願

【東京二十七日發】二十七日の衆議院本會議は午前十時十六分開會、請願の件に關し二十二日の貴族院本會議に於て議決の國體館建設の請願に關し同院議長より回付の請願書に關し審査報告あり、直に日程に入り次で請願委員長より旧帝國議事堂跡に國體館建設の請願について医学博士勝沼精蔵氏（公正）は發言を求めて左の如く述べ、結城農相より「至極同感である、關係當局と十分協議を遂げ善處する」と答辯した（寫眞は壇上の阪谷男）

壯丁の年齢引下
實施しない
杉山陸相が言明

【東京二十七日發】二十七日の衆議院軍機保護法改正法案委員會で杉山陸相は松田源三郎氏（民政）から壯丁年齢を滿十九歳に引下ることの質問に對し左の如く答弁した

滿十九歳に引下ることが社會上或は家庭上に好都合か知れぬが民法上との關係もあり且つ滿二十歳の現行法が尚ほ體質を備へ得る年齢と考へてゐる、通信兵、航空兵は若くても宜しいが重い背嚢を背負ふ歩兵の如きは困難である、十七歳より採用してゐる志願兵は體格優秀なものゝみ僅かを厳選するのであるからこれを以て一般の標準とはならぬ、青年の體位低下の現狀では年齢低下は適當でない点は特別の事情の發生せざる限り年齢低下實施の意思はない

參謀長以下
六將校招待
總督が廿八日

小林総督は廿八日午後六時半より官邸に參謀長、佐藤第一師團長、長谷部旅團長、增田覺兵團長、澤村陸軍歩兵少佐、中牟田海軍少佐の台湾軍幹人七將校を招いて晩餐を催ほす、主賓の外に參督府側より各部局長、藤田知事、石井市尹、軍部より松井參謀長司令官、山内兵站參謀、緒方、鄭後兩海軍武官が陪席する

兒玉團長ら
上海を出帆

【上海二十七日發同盟】支那派遣艦隊の兒玉艦長外三氏は日支官民多数の見送り裡に二十七日午前九時上海丸で帰國の途に就いた

外國郵便も値上げ

【東京二十七日發本社特電】内閣郵便値上げと共に四月一日より実施される外国郵便料金値上げ理由は内国郵便料金の場合と異なり国際郵便關係に相當する額の郵便料金を以て決定すべき義務がある、然るに現在の料金は大部分国際郵便條約に基き金フランに對する換算率を定め各国政府は自国の国庫收入を以て其の標準額を以て決定すべき理由に基いてゐる、即ち外国郵便料金は内国郵便料金の場合と異なり国際郵便關係に相當する額の郵便料金を以て決定すべき義務がある、然るに現在の料金は大部分国際郵便條約に基き金フランに對する換算率を定め各国政府は自国の国庫收入を以て其の標準額を以て決定すべき理由に基いてゐる、即ち外国郵便料金は内国郵便料金の場合と異なり国際郵便關係に相當する額の郵便料金を以て決定すべき義務がある、然るに

郵便料金改正と注意
四月一日から實施

足料金を貼付すること
二、四月一日以後差出された郵便物で料金貼付のものは其の不足額の倍額を名宛人から徴収されて相手に非常な迷惑を掛けるから特に注意すること
三、他の種の料金改正は各種別に互つて異るが同種別の間柄で必ずしも同じになつて居ない事もある、例へば手紙の場合で十五瓦迄二十五瓦以下のものは同料金であるが二十五瓦以上は一瓦に過ぎず之に對する倍の料金を要する
四、書留料金は各種別に互つて異るが同種別の間柄で必ずしも同じになつて居ない事もある、例へば手紙の場合で十五瓦迄二十五瓦以下のものは同料金であるが二十五瓦以上は一瓦に過ぎず之に對する倍の料金を要する

改正の料金

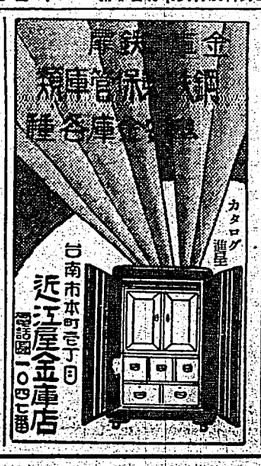
内國通常

第一種　内信書状　二十瓦迄に四銭
無封書状　百二十瓦迄に四銭
二、三種　通常葉書　二銭
往復葉書　四銭
封緘葉書　四銭
第二種　一、一銭　百二十瓦迄毎に一銭
二、百二十瓦迄毎に一銭
第四種　一、一銭　百二十瓦迄毎に一銭
二、百人用点字　六百瓦迄毎に一銭
三、印刷物　一銭五十瓦迄毎に一銭
二、百人用点字　一キロ瓦迄毎に一銭
第五種　農作物種子　百二十瓦迄毎に一銭
市内特別
第一種　内信書状　二十瓦迄毎に二銭
無封書状　百二十瓦迄毎に一銭
二、三種　通常葉書　二銭
往復葉書　四銭
封緘葉書　四銭
第二種　一、一銭　百二十瓦迄毎に一銭
二、百人用点字　六百瓦迄毎に一銭
三、印刷物　一銭五十瓦迄毎に一銭
二、百人用点字　一キロ瓦迄毎に一銭
第五種　農作物種子　百二十瓦迄毎に一銭

外國通常郵便料金（滿洲國及び中華民國宛改正料金に内國郵便料金に同じ）

一、書状　二十瓦迄二十銭
二十瓦以上二十瓦迄毎に十二銭
二、郵便葉書　通常十銭　往復二十銭
三、印刷物　一銭五十瓦迄毎に四銭
二、百人用点字一キロ瓦迄毎に二銭
四、業務用銀　二百五十瓦迄二十銭
十銭、以上五十瓦迄毎に四銭
五、商品見本　百瓦迄六銭、以上五十瓦迄毎に四銭
六、小包郵便物　二百五十瓦迄四十銭、以上五百瓦迄八銭
外国宛通常の航空料、即配達料増
航空路の航空料、即配達料増

新發賣



生徒募集
一、商科一學年　約百二十名
工科一學年　約七十五名
生徒私立臺灣商工學校
募集入學願書受付四月六日限入學試驗四月八日
（詳細ハ郵便ニテ請求セラレタシ）
臺北市幸町一ノ五
吉田内科醫院
▲内科▼

シナチク

海外に出て自分のためと同時に国家のために働いてゐる多数の在外邦人に取り、悩みの第一は其の第二世の教育問題で、勝許で教育を受けさせるのと民族教育に就ては全く手も足もつかない▲台湾なんかに商法方面に働いてゐる人々の子弟を預かつて良く教育して呉れる寄宿舎をもつ学校が一つ位欲しいとの聲を屢々聞くが▲それ以上の世話は

財界側面鏡

物價急騰勢に俸給生活者不安

勞銀値上の要求に發する

全國工場罷業五十三件に上る

【東京發電報至便】昨年の春頃から景氣が立直りかけたと思つたら俄然物價は騰り出し年を越して一段と騰ね上つて來た、これが原因として擧げられてゐることは、外國資料では諸外國の現價騰貴から來る

軍需景氣　であり、對內問題としては馬場藏相の提示した豫算總額二十億四千萬圓の擴大なるものがあり、それやこれやでインフレの脅威を感ずる聲も物價指數は全く歴史上の最高なものは昭和三年の九月の二三九・八であるが、本年一月の指數は遜色なく之を凌駕して二三三・三で昨年十二月の指數に比較して八分六厘方の

大幅激騰　を示して居り、また前年一月の指數一九二・八に比較すると實に二割一分五厘の大激騰を示したものである、二月の指數は二三〇・四で前月より殆ど分低落したが、それでも昨年二月の指數に比較すれば依然二割一分の激騰振りである、一月に比し五十二種の商品が騰貴を示したのは政府物價調査の最高なものは昭和三年の九月の二三九・八であるが、本年一月の指數は遜色なく之を凌駕して二三三・三で昨年十二月の指數に比較して八分六厘方の

大幅激騰　を示して居り、また前年一月の指數一九二・八に比較すると實に二割一分五厘の大激騰を示したものである、二月の指數は二三〇・四で前月より殆ど分低落したが、それでも昨年二月の指數に比較すれば依然二割一分の激騰振りである、一月に比し五十二種の商品が騰貴を示したのは政府物價調査以來の最高記錄であり、一方昨年の春頃から物價は騰り出し年を越して一段と騰ね上つて來た、これが原因として擧げられてゐることは、外國資料では諸外國の現價騰貴から來る

軍需景氣　であり、對內問題としては馬場藏相の提示した豫算總額二十億四千萬圓の擴大なるものがあり、それやこれやでインフレの脅威を感ずる聲も物價指數は全く歴史上